

保護者様もお読み下さい

◆情報公開◆

- 公開 1 本部に関する情報…財務諸表(2校合算)
以下 パリ総合美容専門学校柏校のみ
- 公開 2 教育課程編成委員会 I の開催記録
- 公開 3 学校関係者評価委員会 I の開催
- 公開 4 基礎・基本教育の成果を試す「美容師国家試験」の結果
(平成 28 年度・新卒)
- 公開 5 業務独占資格「美容師」の求人情報の詳細
- 公開 6 自己評価表

◆本校の特長◆

基礎・基本	就 職	学費支払支援
技術と学科の基礎・基本の修得度をテストするのが、美容師国家試験であります。本校及び姉妹校の千葉校は、千葉県内でトップクラスの成績をおさめています。	本校の総合美容科は、美容師養成課程であります。美容師は美容関係唯一の「業務独占の国家資格」であります。美容界の美容師不足を反映してサロンから寄せられる求人数は卒業生の数十倍にもなります。毎年就職希望者全員が就職しています。	本校独自の学費長期分割納付制度は、最長 5 年間です。保護者様の経済的事情が変われば契約の変更もできるユニークな制度があります。

学校法人 パリ美容国際学園

パリ総合美容専門学校柏校

公開 1

本部に関する情報公開

財務の公開

本部・ パリ総合美容専門学校千葉校 パリ総合美容専門学校柏校 合算

独立監査人の監査について

平成 29 年 6 月 8 日

学校法人パリ美容国際学園
パリ総合美容専門学校千葉校
パリ総合美容専門学校柏校

独立監査人 松本香公認会計士

私立学校振興助成法第 14 条第 3 項の規定に基づく監査報告を行うため、平成 28 年 3 月 15 日付け千葉県告示第 186 号に基づき、学校法人パリ美容国際学園の平成 28 年度(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)の計算書類、すなわち、資金収支計算書(人件費支出内訳表を含む。)、事業活動収支計算書、貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。)、収益事業に係る貸借対照表及び損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記について、上記監査人によって監査が行われ、適正であると認められた。

事業活動収支計算書

平成28年4月1日から

(単位 円)

		科目	決算			科目	決算
		学生生徒等納付金	431,012,202			受取利息・配当金	2,528,051
収入の部		手数料	2,420,378	その他教育活動外収入	-		
		寄付金	-	教育活動外収入の計	2,528,051		
支出の部		経常費等補助金	25,854,802	支出の部		科目	決算
		付随事業収入	3,098,000	借入金等利息	3,924,421		
教育活動収入支		雑収入	5,401,570	その他教育活動外支出	-		
		教育活動収入合計	467,786,952	教育活動外支出の計	3,924,421		
支出の部		人件費	225,604,231	教育活動外収支差額		△1,396,370	
		教育研究経費	141,351,642	経常収支差額		842,906	
特別収入支		管理経費	98,403,347	収入の部		科目	決算
		徴収不能額等	188,456	資産売却差額	470,520		
教育活動収支差額		教育活動支出の部合計	465,547,676	その他特別収入	-		
		教育活動収支差額	2,239,276	施設設備補助金	-		
				特別収入の計	470,520		
				支出の部		科目	決算
				資産処分差額	-		
				その他特別支出	-		
				特別支出の計	-		
				特別収支差額		470,520	
				基本金組入前当年度収支差額		1,313,426	
				基本金組入額合計		△77,065,534	
				当年度収支差額		△75,752,108	
				前年度繰越収支差額		△52,845,076	
				基本金取崩額		-	
				翌年度繰越収支差額		△128,597,184	
				(参考)			
				事業活動収入 計	470,785,523		
				事業活動支出 計	469,472,097		

貸借対照表

平成29年3月31日

(単位 円)

資産の部		負債の部	
科目	本年度末	科目	本年度末
固定資産	1,514,830,970	固定負債	347,470,200
有形固定資産	1,404,745,110	長期借入金	323,532,000
その他の固定資産	110,085,860	その他固定負債	23,938,200
流動資産	366,702,683	流動負債	259,148,143
現金預金	282,082,048	前受金	187,375,224
その他流動資産	84,620,635	その他流動負債	71,772,919
資産の部合計	1,881,533,653	負債の部合計	606,618,343
		基本金の部	
		科目	本年度末
		基本金	1,403,512,494
		繰越収支差額の部	
		翌年度繰越収支差額	△128,597,184
		正味財産	1,274,915,310
		負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	1,881,533,653

表中の△は学校法人会計独自のもので、企業会計の損失を表わすものではありません。

公開 2

柏校教育課程編成委員会 I

1. 開催日時 平成29年4月19日 午後6時から6時50分
2. 場 所 パリ総合美容専門学校柏校1階
3. 委 員

委員	所属企業・団体名	役職名	任期	概要
横田 剛一	株式会社エル	代表取締役	2年	首都圏に美容室15店舗経営・講師でも活躍
山場 研二	株式会社レッシュブ	代表取締役	2年	首都圏に美容室20店舗経営・講師でも活躍
神田 範子	千葉県美容講師会	会長	2年	有限会社ビューティサロンからだ代表 千葉県美容講師会 着付講師
高橋 修	教育コンサルタント		2年	千葉県県立高等学校 校長など 歴任
中田 裕之	パリ総合美容専門学校 柏校	校長	2年	
赤海 英輝	パリ総合美容専門学校 柏校	副校長	2年	柏校同窓会事務局長

4. 議案
 - 1 アピッシュゼミの報告の件
 - 2 卒業生を講師とする講話の件
 - 3 サロンオーナーの講話開催計画案
 - 4 大学との提携の件

【開催記録】

本委員会の議長を高橋修委員とする

1. アピッシュゼミの報告

赤海：アピッシュゼミを始めて6年が経ちました。当初は卒業して現場に出てから即戦力となる人材の育成をテーマとしていたので、シャンプーを中心にアシスタントとしての仕事をメインに授業展開をしておりましたが、美容の楽しさに触れる機会が少なく、また、アピッシュの先生方も大勢の専門学生達に授業を教えることが今まで無かったため、学生達から授業が辛いという意見が多く見受けられました。そのような意見を受け、講師の先生方と学校側で定期的に意見交換をし、当初のテーマを踏襲しながら美容師の要であるカットを中心とした授業を展開することにより、学生達からもゼミが楽しく、次の授業までが待ち遠しいという意見がもらえるまでになりました。今ではアピッシュゼミを受講できることが本校を選ぶ理由の1つとして定着することが

でき、とてもよい成果があげられております。

2. 卒業生を講師としての講話の今後の進め方

中田：開講14年目を迎え、その間に多くの卒業生達が美容業界で活躍するようになりました。

本年度のオープンキャンパスでは、美容業界で活躍している卒業生を呼び、仕事のやりがいやすばらしさ、夢を叶える楽しさを講話や当時お世話になった担任との対談、ヘアステージなどを通じて行って参ります。同様の事を今後は本校の在校生に向けて行いたいと考えております。

山場：とても良い試みですね。卒業生達を輩出して10年以上が経過しているので、多くの方が業界で活躍している事と思います。オーナーをはじめ、トップスタイリストやアシスタントなどいろいろなジャンルの卒業生が選べるので聞く側も飽きないと思います。単発で終わらせず、定期的に行い、学生達のモチベーションアップにつなげて欲しいと思います。

横田：在校生達が聞きたいのは母校を巣立っていったOB、OGの生の声だと思いますので、必要な時には喜んで卒業生を派遣しますので是非声をかけて下さい。

3. サロンオーナー様の今年度の講話開催計画案

中田：現在、毎年3月に在校生に向けて横田先生による講話を行っていただいております。アピッシュゼミが行われる以前には、坂巻先生によるヘアステージや講話も行っていただいております。オープンキャンパスでも坂巻先生のヘアステージや山場先生にも講話でお世話になっております。在校生に向けてのサロンオーナー様の講話は2年間の間で横田先生の1度しか行われておりませんので、より一層の充実を図っていきたいと考えております。

山場：我々を大いに活用して下さい。在校生には夢を与え、我々は自分達の勉強にもなりません。

赤海：年間スケジュールと調節しながらこのような機会を積極的に取り入れていきたいと思っております。

4. 大学との提携

横田：学歴を身に付けることは、自分の商品価値が上がる事なのでとても良い事だと思います。ただ、専門学校だけでなく、大学まで奨学金を借りた場合の返済はどうなるのかがとても心配です。実際にお店に就職をする学生達の中にも在学中に借りた奨学金の返済がとても大変だという声を聞きます。今、専門学校からお店に学生を送る代わりに、送られた学生の奨学金の返済をお店側でしてあげてくれないかという問い合わせが非常に増えています。私共のお店では在学中に奨学金を受けず自力で学費を支払った子、受けたくても受けられなかった子達との差別が無いようにその様な取り組みはしていませんが、その事が理由で内定を断ってきた学生もおります。

山場：大学との提携はとても素晴らしい事ですが、何年か提携を行っているうちに大学側が
 コツをつかんで、自分達の大学に独自で美容科を作ってしまう懸念があります。

次回の開催予定日を平成29年9月頃とし、閉会した。

公開3

学校関係者評価委員会

1. 開催日時 第1回 平成29年4月19日 午後7時から8時
2. 場 所 パリ総合美容専門学校柏校1階
3. 委 員

委員	所属企業・団体名	役職名	任期	概要
横田 剛一	株式会社エル	代表取締役	2年	首都圏に美容室15店舗経営・講師でも活躍
山場 研二	株式会社レッシュブ	代表取締役	2年	首都圏に美容室20店舗経営・講師でも活躍
神田 範子	千葉県美容講師会	会長	2年	有限会社ビューティサロンかんだ代表 千葉県美容講師会 着付講師
高橋 修	教育コンサルタント		2年	千葉県県立高等学校 校長など 歴任
中田 裕之	パリ総合美容専門学校 柏校	校長	2年	
赤海 英輝	パリ総合美容専門学校 柏校	副校長	2年	柏校同窓会事務局長

4. 出席委員

第1回 横田剛一、山場研二、神田範子、高橋修、中田裕之、赤海英輝

5. 学校関係者評価結果

第2回の結果を踏まえて、次回開催後に公開予定とする。

次回の学校関係者評価委員会は平成29年9月に開催予定とする。

公開4

美容師国家試験の結果

美容師試験は、基礎基本が修得されているかを試す重要な試験です。

平成28年度美容師試験の合格率（新卒） **本校 97.5%**
全国平均 89.1%

公開5

就職状況の公開

1. 平成28年度の求人情報

○法人数 832社 ○店舗数 10587店舗 ○社会保険加入率 78%

美容師	エステティシャン	ネイリスト	アイリスト	その他（ブライダル・販売）
4,218名	1,432名	395名	541名	445名
6.0%	2.0%	6%	8%	6%

※サロンは複数校に「求人票」を出しているため実数は不明ですが、ネット上では新卒美容師1人に対して実質5倍位の求人数とされています。

	千葉県	茨城県	東京都	その他
求人票地域割合	26%	9%	50%	15%
就職地域割合	29%	20%	38%	22%

※千葉県の美容学校だと「東京に就職する場合に不利」と思っている生徒さんがいますが、上記の通り求人的一半が東京からです。全く不利はありません。

2. 就職者数

科	卒業生数	就職希望者数	就職者数
総合美容科・美容師	84	79	79
トータルエステ科	6	6	6
トータルネイル科	8	7	7

3. 就職ガイダンスの実施状況

学校主催 平成28年5月31日

平成28年6月1日、2日間実施 サロン参加数61社

美容師紹介事業の企業主催の校内ガイダンス 1回実施

4. 平成26年4月に本校の創立10周年を記念して柏校同窓会を結成した。姉妹校の千葉校は認可以来卒業生は1万人に達している。千葉校・柏校の同窓会は就職でも協力関係を持ちます。

自己評価表

【教育理念】

本学園の校是「若き日に基礎・基本を鍛えよ、若き日に知識・技術を鍛えよ、若き日に精神力を鍛えよ」を開校以来の基本的教育理念とする。
この基本の上に即戦力となるための応用技術・知識を修得し加えて心身を鍛え美容界に貢献できる人材の育成を目的とする

【教育方針】

1. 美容師養成課程における授業がまさに教育理念の「基礎・基本」である。この基礎・基本を試すのが美容師国家試験であり、本校の合格率はその成果を表している。
2. 応用技術・知識の修得で本校独自のものとして誇れるのは、都心の有名美容室のトップスタイリストたちが最新の美容技術を教えるゼミナール（職業実践教育）である。

公開6

H28年度 パリ総合美容専門学校柏校 自己評価表

1. 教育理念・目的・育成人材像

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
② 学校における職業教育の特色は何か	4
③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
⑤ 各学科の教育目標・育成人材像は、学科などに対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

● 現状

- ・②については、平成22年から坂巻ゼミを行っており、学生全員のアンケートでも高い評価を得ている。
- ・③については、企業の中核をなす美容師養成のため大学と3年次編入の提携契約を交わした。
- ・即、美容技術が行える基礎と応用技術・知識、ニーズ（心）をつかむセンスを持った人材とトータルビューティーに精通できる知識・技術を持った人材の輩出に努めている。

● 課題と今後の改善策

- ・④について、パリ美ニュースの配布を行うことで保護者等に対して周知等を目指す。

2. 学校運営

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
④ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

● 現状

- ・①、②、③については、学則および諸規定によって明確化されており、有効に機能している。また、教職員による運営組織については組織図、校務分掌を毎年作成することで明確化している。
- ・⑤について、法人全体の重要事項は、理事会・評議員会が組織され、定期的な運営状況の報告を行っており、理事会・評議員会を開催し意思決定がなされている。
- ・④については就業規則並びに諸規定によって規定されている。

● 課題と今後の改善策

- ・⑦については、一部HP等で公開している。

3. 教育活動

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
⑥ 関連分野における実践的な職業教育（連携による実習）が体系的に位置づけられているか	4
⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
⑬ 資質向上のための取組が行われているか	3
⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	2

● 現状

- ・④について、平成22年度から開始の「坂巻ゼミ」では、一流美容師による「実践美容技術」と「坂巻哲也ism」で最新の技術を学ぶプログラムを実施している。
- ・⑤について、関連分野のヘッドスパ団体と研修計画を策定した。
- ・⑧について、美容所経営者を招き、学生に対し講話を開催している。他に各種コンテストに参加し、一般的評価を受けている。
- ・⑨については明確に定められている。

● 課題と今後の改善策

- ・⑤について、ヘッドスパ団体と策定した研修計画を実行し、カリキュラムに反映させる。

4. 学修成果

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 就職率の向上が図られているか	4
② 資格取得率の向上が図られているか	4
③ 退学率の低減が図られているか	4
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

● 現状

- ・①については、平成28年度の求人数7,031人（求人先のサロンは複数校に求人票を送っ

ているので、実数は分からない。) 、毎年就職希望者全員就職が決定している。

- ・②については、総合美容科80名が美容師国家試験を受験し、78名が合格・美容師資格を取得した。美容師資格以外でも「ネイル」「メイク」「まつ毛エクステンション」「エステ」など、各種検定試験の取得を奨励している。

● 課題と今後の改善策

- ・④、⑤については平成26年4月に同窓会を結成し、各学年より1名の幹事を配置し名簿の作成や卒業生の動向の把握を図っている。今年度については、昨年に引き続き、坂巻ゼミについての評価を募集中である。

5. 学生支援

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
② 学生相談に関する体制は整備されているか	4
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	2
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	2
⑦ 保護者と適切に連携しているか	3
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	3
⑨ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

● 現状

- ・①、②について、クラス担任制を実施しており、進路・就職相談のみならず、学生の生活上の諸問題等について、必要に応じて個別面談等を実施している。
- ・多数の美容室が参加し学生とディスカッションできる就職ガイダンスを毎年校内で実施している。
- ・③については、本校独自の「学費長期分割納付制度」や遠距離からの入学者に対して「家賃補助制度」を整備している。また、事務局に担当窓口を設け、学費納付の相談を受け付けている。
- ・⑨高校・中学校の職業体験を積極的に受け入れている。

● 課題と今後の改善策

- ・⑤については、支援体制を整備する。
- ・⑥については、美容室でアルバイトをしている学生は少なくないので、その学生の職業体験談を活用することを検討している。

6. 教育環境

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	3
③ 防災に対する体制は整備されているか	3

● 現状

- ・③については、毎年防災計画に基づき、避難訓練を実施している。

● 課題と今後の改善策

- ・災害等の停電時に地下水を汲み上げる自家発電装置を整備する。
- ・②のインターンシップについては、美容室でアルバイトをする場合に、学校とオーナーと連携して、職業体験に位置づけできないか、今後の課題とする。

7. 学生の受入募集

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 学生募集活動は、適正に行われているか	4
② 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
③ 学生納付金は妥当なものとなっているか	4

● 現状

- ・①、②については、パンフレット・募集要項を毎年作成し、入学希望者に配布している。また、3月から10月まではオープンキャンパスを開催し、オープンキャンパスでは授業体験を実施する等して当校に対する理解を深めてもらっている。その他、県内及び隣接県に学生募集活動も実施している。
- ・③については、理事会・評議員会において、千葉県その他の美容学校の学費の平均額を上回らない額で、決定している。

● 課題と今後の改善策

8. 財務

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
③ 財務について会計監査が適正に行われているか	4
④ 財務情報公開の体制整備はできているか	4

● 現状

- ・監事の監査並びに独立監査人による法定監査が行われている。

● 課題と今後の改善策

- ・財務の情報公開については、毎年監査が終了したら速やかに公開する。

9. 法令等の遵守

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
④ 自己評価結果を公開しているか	4

● 現状

- ・美容師法及び関連法令、専修学校設置基準に基づいて適正に運営している。

● 課題と今後の改善策

- ・③については、一部改善の遅れているものもある。

<以下は任意>

10. 社会貢献・地域貢献

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2

① 現状

② 課題と今後の改善策

11. 国際交流（必要に応じて）※H26から自己評価では評価は行っていません。

評価項目	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	
留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	
留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	

① 現状

② 課題と今後の改善策